

令和4年第9回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和4年10月19日（水曜日） 午後1時45分から3時32分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・新堀陽子・芳澤佐織
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 国分央・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 野口重昭・学校教育課長 利根川典正・学校教育課副参事 下ノ坊圭・生涯学習課課長 中條智則・文化財担当主幹 松本尚也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	なし
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、報告第6号

議題及び決定事項等

報告第6号 専決処理について  
原案どおり承認

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

- 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。
- その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 新たに国から交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使途は。

(教育部長) 主に6項目ある。1つ目は子育て世帯への支援として、民間保育園への食材高騰に対する支援や子ども食堂への食材支援、2つ目は省エネ家電への買い替え促進、3つ目は医療・介護・保育施設等に対するエネルギー価格等高騰対策支援、4つ目は中小企業に対するエネルギー価格等高騰対策支援、5つ目は地域公共交通等に対する支援、6つ目はその他として、農業者や地域自主運行実施者等への支援である。

(委員) 英語技能検定について、2級や準2級を受験している生徒が多くいる。その中で、帰国子女でなく塾などにも行っていない生徒がいるのか。個人の勉強で2級を受験するレベルにどのように達したのか。それを研究することで、今後の指導に生かせることもあると思う。

(委員) 「かえでっ子アフターすくーる」とはどういった事業か。

(生涯学習課長) 高麗川地区で行っている放課後子ども教室の名称である。放課後等の子どもたちの居場所づくりを主な目的としている。高齢化などにより指導者の減少が問題となっている。

(委員) 学校では体験できないことや自己肯定感を醸成させるような取組を行ってほしい。

(教育長) 国の施策で始まった事業で、地域の協力を得ながら進めてきたが、軌道に乗ったところでコロナ禍となってしまった。今後は新たに立ち上がった地域学校協働本部と連携しながら充実させていきたいと思っている。

(委員) 教員だけではないが、同じ仕事を続けていると視野が狭くなることがある。地域学校協働本部で経験値の高い地域の人が、違った視点で子どもたちを見ることはよい取組である

(委員) 学校指導訪問により教員指導を行っているが、学校の体質として教員個人が対応することが多いと感じる。もっと組織的・体系的に学校運営を行ってもよいと思う。

(委員) 主体性は大切だが、協働性や多様性も大切である。教員が主体的に指導できる環境があるかといえばそうでもなく、学習指導要領を逸脱してしまうこともよくない。そこをコントロールするのが管理職の仕事である。その境界を理解して思うようにやらせてあげる力がなければならない。組織力を再構築し教育力を向上させる必要がある。その場、目先の問題を解決してだけでなく、将来を見越して備えなければならない。展望なくて経営はないと思う。

(委員) 新型コロナウイルス感染症について、南半球のデータでインフルエンザのワクチンもコロナウイルスの予防につながったというものがある。タイプは違うが、ウイルスの発症のメカニズムは同じである。学校で感染し、塾や家庭等で拡大していき、そこで感染してしまった人が後遺症に苦しんでいるという例もある。ある程度の感染は仕方がないが、予防はしっかりしてもらいたい。

(委員) 県教育委員会からの伝達事項の中に給食の異物混入事件とあるがどういった内容か。

(教育長) 他市の学校で教員が児童の給食に漂白剤を混入させたというものである。予測のつかない事件が起きている。

(委員) 同じく県教育委員会からで、管理職の不足数を補うため登用ラインを変更するとあるがどういったことか。

(教育長) 年齢を引き下げる変更である。

(委員) 学校指導訪問において、義務教育学校に関する質問はでてきているか。県からくる指導主事も義務教育学校の経験はあまりないと思うので、答えられないのではないか。日高市は小中一貫教育に関して先進的な取組を行っている。教育課程の編成

など日高モデルを作り上げてもらいたい。

(委員) 教員の定年延長はどうなっているか。

(教育長) 令和5年度から段階的に引き上げが行われていく。管理職は60歳で役職定年を迎え主幹級となる予定である。

(委員) 放課後子ども教室について、福祉との連携は行っているか。

(教育長) 国は学童保育と放課後子ども教室を一つにすることを考えているが、そこまで進んでいないのが現状である。

(委員) ツーデーウオークのパンフレットはセンス良くできていると思う。

(委員) 一部の小学校で高麗郷民俗資料館の見学を行っているが、全ての小学校で実施できればよいと思う。

(委員) 不登校の子どもに学習用タブレット端末の貸出を行わなかったことについて、保護者に何故貸せないのかといった理由の丁寧な説明をお願いしたい。誤解を招くこととなる。

(委員) 放課後子ども教室について、コロナ禍により中止をしていたが、地域差はあるが、徐々に再開され始めている。感染症対策の指針などはあるのか。

(生涯学習課) 統一した指針はなく、他のイベントでの対策例などは情報提供し、各地域で考えながら行ってもらっている。

#### 4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

##### 報告第6号

(委員) 新高萩公民館の防犯カメラについて、広い範囲をカバーできるような位置で設置をしたほうがよい。

#### 5) その他

##### (1) 次回定例会の日程等について

○11月定例会：11月30日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

○12月定例会：12月21日（水曜日）午後1時40分から 委員了承